

みずほCustomer Desk Report 2017/02/15号(As of 2017/02/14)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値	113.70
TKY 9:00AM	113.69	1.0599	120.50	1.0057	1.2524	0.7643
SYD-NY High	114.50	1.0634	121.00	1.0085	1.2548	0.7696
SYD-NY Low	113.25	1.0561	120.23	1.0032	1.2443	0.7618
NY 5:00 PM	114.27	1.0578	120.85	1.0065	1.2464	0.7664
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	10.365/11.065		25RR	0.140	Yen Call Over	
NY DOW	20,504.41	92.25	債券市場			
NASDAQ	5,782.57	18.62	日本2年債	-0.2090	▲0.7bp	
S&P	2,337.58	9.33	日本10年債	0.0980	0.5bp	
日経平均	19,238.98	▲220.17	米国2年債	1.2343	3.3bp	
TOPIX	1,539.12	▲15.08	米国5年債	1.9630	4.8bp	
シカゴ日経先物	19,500	▲40.00	米国10年債	2.4698	3.4bp	
ロンドンFT	7,268.56	▲10.36	独10年債	0.3660	3.5bp	
DAX	11,771.81	▲2.62	英10年債	1.3100	1.7bp	
ハンセン指数	23,703.01	▲7.97	豪10年債	2.7370	3.2bp	
上海総合	3,217.93	1.09	為替市況	USD/CNH	6.8601	▲0.0140
USDJPY 3M Vol	11.99	▲0.30%		ドルインデックス	101.22	0.26
USDJPY 6M Vol	11.46	▲0.27%	商品市況	CRB指数	192.279	0.22
EURJPY 3M Vol	13.33	▲0.28%		NY金	1,225.40	▲0.40
EURJPY 6M Vol	12.35	▲0.29%		WTI	53.20	0.27
				Dubai Spot	54.33	0.13

東京
ドル円は113.69レールで東京時間オープン。米上院でムニューチ氏の財務長官就任が予想通り承認されたことによる安心感や、発表された中国1月CPI及び同PPIがいずれも予想を上回ったことにサポートされ、ドル円は113円台後半で堅調に推移。しかし、午後に入って本邦電機大手の決算発表延期報道や、フジ米大統領補佐官辞任報道を受けてリスクオフムードが後退、日経平均株価が前日比200円超安と下げ幅を拡大させる中、ドル円はじりじりと下落。前日安値の113.44を割り込み、安値113.26をつけた後、113.31レールで海外に渡った。(東京15:30)

ロンドン
ドル円は、113.31レールでオープン。午後に予定されるイエレンFRB議長の議会証言を控え様子見ムード。議会証言では利上げのタイミング等のヒントは得られないとの見方が大半であったものの、金融規制改革を擁護するとの思惑も浮上し、113円中盤でレンジ推移。一旦は安値113.25をつけたものの113.40レールまで戻してNYに渡った。ポンドドルは、1.2547レールでオープン。英国1月CPIは前年比+1.8%と、2年ぶりの高水準となったものの、予想(+1.9%)は下回ったため、ポンドは1.2443まで下落。1.2481でNYに渡った。ユーロドルは、1.0620レールでオープン。イタリア第4四半期GDP速報値が前年比+1.1%(予想+1.0%)と2011年来の伸びを示すと、1.0634まで上昇。しかし、政治的不透明感から独2月ZEW景気期待指数が前月の16.6から10.4(予想15.0)に低下するとユーロドルは1.0608まで下落し、1.0622レールでNYに渡った。(ロンドン17:00)

ニューヨーク
ドル円は113.40レールでNYオープン。朝方発表された1月PPI最終需要(前月比)は予想を上回ったが、イエレンFRB議長の上院議会証言を控え、ドル買いは限定的。朝10時から行われた議会証言では、「利上げを待ちすぎるのは賢明ではない」「経済成長が予測通りとなれば、さらなる調整が必要となる可能性が高い」との見解が示されたことを受けて、早期利上げ観測が高まり米金利が上昇。ドル買いが強まりドル円は一時114.50まで急騰した。しかしこの水準ではドル売り意欲も強く、またイエレン議長が「トランプ政権の財政拡張策には、長期的な経済成長や持続可能な財政収支との両立が重要」との見解を示したことから、財政拡張や税制改革の不透明感が意識され、114.15まで値を戻した。その後はボジョワ調整によりレンジ内での推移となったが、金融セクターを中心に米株が堅調に推移したことや、グラス連銀カプラン総裁による「2017年の米国の成長速度は2%を少し上回るだろう」との lạc派的な発言もあり、ドル円は114円台前半での底堅い値動きとなり、114.27レールでクローズした。一方ユーロドルは1.0622でNYオープン。朝方はイエレン議長の lạc派的な発言を受けて米長期金利の上昇とともにドル買いが強まり、ユーロドルは一時1.0561まで下落。その後は1.05台後半での推移となり、1.0578レールでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断なさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 矢野・坂本

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月14日	10:30	中 CPI/PPI(前年比)	1月 2.5%/6.9%	2.4%/6.5%
	13:30	日 鉱工業生産(前月比/前年比)・確報	12月 0.7%/3.2%	-/-
	16:00	独 GDP(季調済・前期比/前年比)・速報	4Q 0.4%/1.7%	0.5%/1.8%
	16:00	独 CPI(前月比/前年比)・確報	1月 -0.6%/1.9%	-0.6%/1.9%
	16:00	独 EU基準CPI(前月比/前年比)・確報	1月 -0.8%/1.9%	-0.8%/1.9%
	18:30	英 CPI(前月比/前年比)	1月 -0.5%/1.8%	-0.5%/1.9%
	19:00	独 ZEW調査(現状/期待)	2月 76.4/10.4	77.0/15.0
	19:00	欧 GDP(季調済・前期比/前年比)・速報	4Q 0.4%/1.7%	0.5%/1.8%
	22:30	米 PPI最終需要(前月比/前年比)	1月 0.6%/1.6%	0.3%/1.5%
	22:50	米 ラッカー・リッチモンド連銀総裁 講演	-	-
2月15日	00:00	米 イエレンFRB議長 議会証言	-	-
	03:00	米 カプラン・グラス連銀総裁 講演	-	-
	03:30	米 ロックハート・アトランタ連銀総裁 講演	-	-

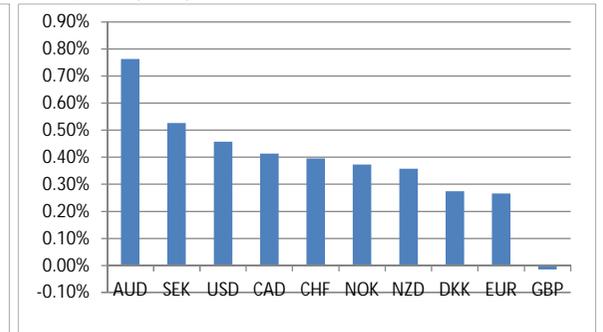
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月15日	18:30	英 ILO失業率(3ヶ月)	12月 4.8%	4.8%
	22:30	米 ニューヨーク連銀製造業景気指数	12月 7.0	6.5
	22:30	米 CPI(前月比/前年比)	1月 0.3%/2.4%	0.3%/2.1%
	22:30	米 コアCPI(前月比/前年比)	1月 0.2%/2.1%	0.2%/2.2%
	22:30	米 小売売上高(前月比)・速報	1月 0.1%	0.6%
2月16日	00:00	米 イエレンFRB議長 議会証言	-	-
	03:00	米 ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁 講演	-	-
	03:10	米 ローゼン格林・ボストン連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	114.00-114.70	1.0530-1.0600	120.60-121.20

【マーケットインプレッション】

昨日の海外時間のドル円は大幅上昇となった。イエレン米連邦準備理事会(FRB)議長が米議会上院委で証言し、同国の雇用や物価について明るい見通しを示したほか、利上げについて待ちすぎることは「賢明でない」と指摘したことから、3月14~15日に開催される米連邦公開市場委員会(FOMC)での利上げもありうるとの思惑が高まった。これを受けてドル買いが優勢な展開となり、1ドル=114.50円まで上昇した。本日のドル円は「堅調な展開」を予想。日米金利差拡大が意識される中、底堅い展開が続こう。